

イントロダクション：IMS技術標準と教育DX

1 | IMSグローバルとは

e-LearningやICT活用教育の分野では、ソフトウェアやコンテンツ、データの国際標準化を進め相互運用性(Interoperability)を高めることで、その流通や共有再利用、開発コストの低減が進められています。国際標準化団体IMS Global Learning Consortium(IMSグローバル)は教育情報システムのための国際技術標準の策定にくわえ、その実用を通じてICTによる教育改革を推進する国際コミュニティです。

2 | IMS技術標準と教育デジタル・トランスフォーメーション(教育DX)

IMSグローバルが開発公開している20を超える技術標準は、学習管理システム(LMS)ばかりでなく教務(校務)システム、試験システム、デジタルクレデンシャルシステム、カリキュラム・シラバス管理システムなどさまざまな教育情報システムをカバーし、システム間の相互運用性を高めています。IMS技術標準は、教育デジタル・トランスフォーメーション(教育DX)をデジタルエコシステムによって実現する基盤技術といえるでしょう。

Key Word 1



デジタル・トランスフォーメーション戦略

デジタル技術で学びの改革を実現します。

Digital Transformation Strategy

プラグ&プレイ型システム統合

自由に統合できて、プラグインすればすぐに使えるように、学びのシステムやツールを開発します。

Key Word 2



Seamless Plug & Play Integration

Key Word 3



アジャイル型オープンアーキテクチャーと拡張性のあるエコシステム

アーキテクチャーはオープンに、多様なニッチと特色ある製品を受け入れる拡張性の高いデジタルエコシステムを理想とします。

Agile Open Architecture & Extensive Ecosystem

DIGITAL CREDENTIALS & PATHWAYS	LEARNING DATA & ANALYTICS	INTEGRATED ASSESSMENT	LEARNING PLATFORMS, APPS & TOOLS	CURRICULUM INNOVATION
デジタルクレデンシャルは、生涯学習者が自らの学習エビデンスに基づきスキルと成果を管理できるようにし、修了歴ではなく学習歴に基づくキャリアの実現をサポートすることにより、教育と専門能力開発についての考え方を一新しています。	すべてのデジタルリソースからの学習ログデータ(リアルタイムで利用可能で、ダッシュボードを使用して表示可能)は、学生のキャリア戦略、組織の学術的エビデンスに基づいた人材開発戦略の意思決定、更なる高い教育・学習効果を実現するインストラクショナルデザインに情報を提供し、あらゆる学習に関する基礎研究に共通のデータ形式を提供します。	誰もがアクセス可能で、教育・学習における適応性があり、情報セキュリティ面からも完全に保護された高品質の革新的なデジタル評価は、教育と学習のプロセスを補完し可視化することにより、効果的な介入と継続的な改善を可能にします。	次世代の教育と学習をサポートするための最も効果的な方法は、すべてのデジタルコンテンツ、学習ツール、および評価製品を教育機関のデジタル学習プラットフォームにスケラブルかつ安全に統合することです。	さまざまなソースからの学習コンテンツをパッケージ化し、デジタルリソースの管理を合理化することで、教育にかかる貴重な時間を効率化し、より優れた学習体験につながるより多くの選択肢と柔軟性を提供します。
関連技術 Competencies and Academic Standards Exchange(CASE) Comprehensive Learner Record Open badges PIVOT Project	関連技術 OneRoster Caliper Analytics	関連技術 Question and Test Interoperability(QTI) Accessible Portable Item Protocol(APIP) Computer Adaptive Testing Proctoring Services	関連技術 App Verting & Data Privacy Learning Tools Interoperability(LTI) LTI Advantage LTI Resourse Search	関連技術 AccessForALL Common Cartridge EPUB for Education OpenVideo

3 | 日本IMS協会とは

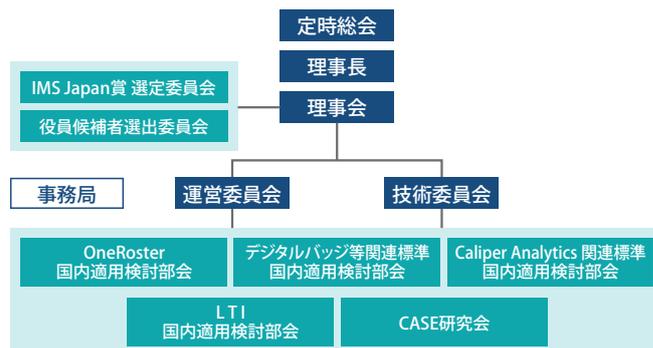
一般社団法人日本IMS協会は、2016年に国際標準化団体IMS Global Learning Consortium (IMSグローバル)に参加する日本の大学や企業を中心となって設立されました。

日本IMS協会は、初中等教育、高等教育、生涯学習、企業内教育など、さまざまな教育・人材開発におけるDXの実現を目指し、わが国を中心にIMS技術標準の普及促進を行っています。

4 | 日本IMS協会の組織体制

日本IMS協会は、日本からIMS Globalに参加する正会員を中心に、国内限定の一般地域会員・連携会員・個人会員から構成される一般社団法人です。日本IMS協会はIMSグローバルと独立した組織になりますが、共同で事業を行います。

一般社団法人日本IMS協会は、右記のような組織体制で年間の活動計画をもとに運営しています。



5 | 会員メリットと入会のご案内

会員になると、IMSグローバルの年会費半額割引(2022年2月現在)のほか、さまざまなメリットがあります。

〈日本IMS協会会員のメリット〉

- 日本IMS協会が主催する講演会、ワークショップ、研究会等に無料あるいは会員価格で参加できます。
- 日本IMS協会の部会活動(多くは、IMS Globalのワーキンググループに対応)に参加し、IMS Globalで開発中の文書(ただしその一部は別途誓約書が必要)を閲覧することができます。
- 日本IMS協会の一般地域会員がIMSグローバルの会員になる場合には、IMSグローバルの年会費は半額になります。ただし、日本IMS協会から紹介された場合に限りです。

日本IMS協会への入会をご希望される際には、ホームページより入会申込書をダウンロードし、日本IMS協会事務局までご送付ください。

お問い合わせ

一般社団法人 日本IMS協会



IMS Japan Society

一般社団法人日本IMS協会事務局

E-mail : contact@imsjapan.org
<https://www.imsjapan.org/> (IMS Japan Society)
<https://www.imsglobal.org/> (IMS Global Learning Consortium)



IMSJ



IMS GLC